

長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)

第26週

(2026年6月22日～
2026年6月28日)

主な発生動向

○感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の報告数は前週から減少しました(前週:5.50人/定点→今週:5.18/定点)。

ウイルスや細菌などの病原体が原因となる感染症(夏季は細菌などが原因となることもあります)で、嘔吐や下痢などの症状が現れます。

主な感染経路は接触感染と経口感染のため、調理前後や食事の前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水による手洗いを心掛け、感染予防に努めましょう。

また、体調不良時は無理をせず、周囲への感染拡大防止に努めましょう。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は前週から減少しました(前週:3.00人/定点→今週:2.75人/定点)。

A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、発熱、のどの痛み、倦怠感などの症状が現れます。

主な感染経路は飛沫感染と接触感染のため、手洗い、手指消毒、咳エチケットなどの基本的な感染対策を心掛けましょう。

○手足口病

手足口病の報告数は前週から増加しました(前週:1.36人/定点→今週:1.86人/定点)。

手足口病は、口の中、手のひら、足底や足の甲などに2～3mmの水疱を伴う複数の発疹が現れる感染症です。

主な感染経路は飛沫感染・接触感染・経口感染のため、トイレやおむつ交換の後、食事前には石けん・流水による手洗いを心掛け、タオルの共有を避ける、咳エチケットなどの感染対策に努めましょう。

○ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナの報告数は前週から増加しました(前週:0.46人/定点→今週:0.71人/定点)。

子どもを中心に夏季に流行するため、今後の動向に注意が必要です。

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	結核3例
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症4例
四類感染症	レジオネラ症1例
五類感染症	梅毒1例、百日咳1例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
感染性胃腸炎	5.18	94.2%	5.50	5.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.75	91.7%	3.00	3.54
手足口病	1.86	136.8%	1.36	0.54
流行性角結膜炎	1.10	84.6%	1.30	0.50
ヘルパンギーナ	0.71	154.3%	0.46	0.29
急性呼吸器感染症(ARI)	50.96	93.4%	54.58	55.14

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○厚生労働省「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html

○国立健康危機管理研究機構「A群溶血性レンサ球菌感染症」

<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/group-a-streptococcal-infection/index.html>

○厚生労働省「手足口病」

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

○第27週は、7月8日(水)発行予定です。

(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課
中沢、山口

電話 026-235-7148(直通)
026-232-0111(代表) 内線 4135

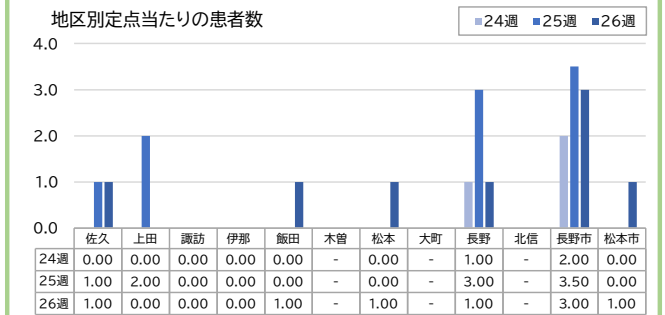
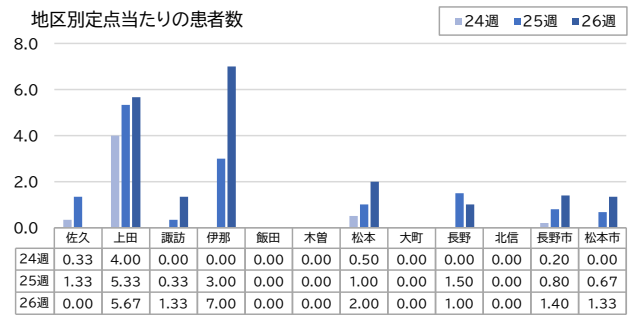
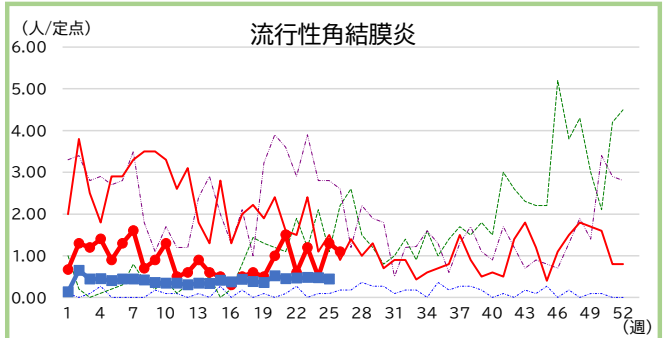
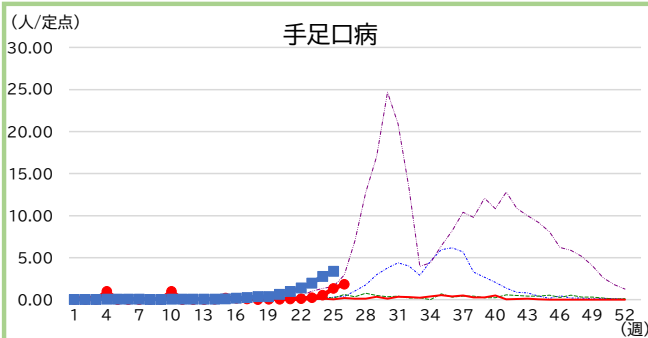
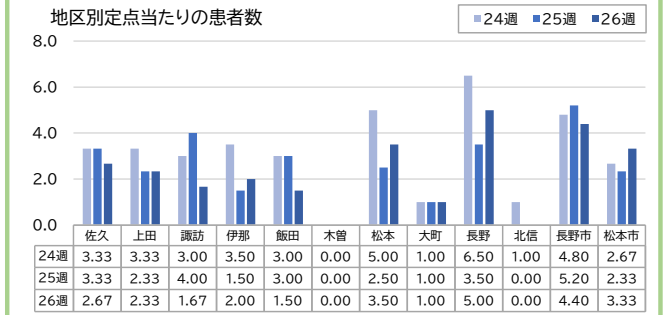
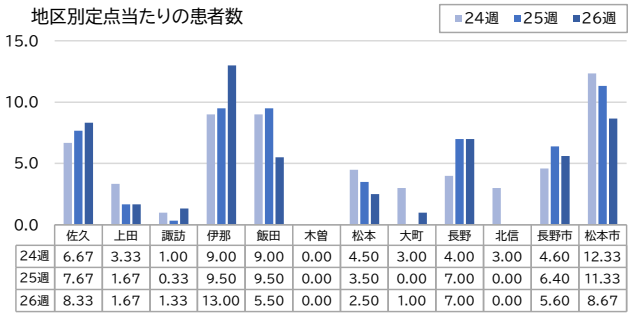
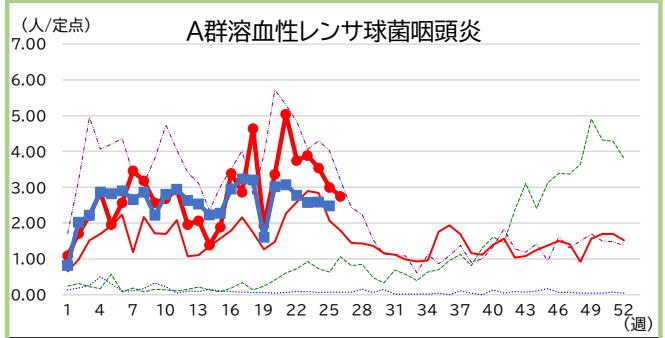
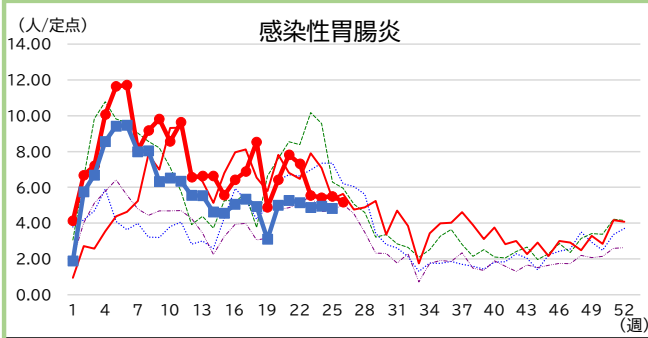
ファクシミリ 026-235-7334

Email kansen@pref.nagano.lg.jp

注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

● 県2022 ● 県2023 ● 県2024
● 県2025 ● 県2026 ■ 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移

